

2025 年 10 月 5 日

(電話 (083) 241-1199)

記

名 称		独立行政法人国立病院機構 関門医療センター											
所 在 地		山口県下関市長府外浦町１番１号											
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計		
	室 210	床 400	室	床	室	床	室	床	室	床	室 210	床 400	
地域医療 支援病院 の法定施 設	区 分			構 造 設 備 の 概 要									
	集 中 治 療 室			主な設備		別紙１のとおり					病床数		6 床
	化 学 検 査 室			主な設備		別紙２のとおり							
	細 菌 検 査 室			主な設備		別紙２のとおり							
	病 理 検 査 室			主な設備		別紙２のとおり							
	病 理 解 剖 室			主な設備		別紙２のとおり							
	研 究 室			主な設備		別紙２のとおり							
	講 義 室			室数		4 室	収容定員					2 0 0 人	
	図 書 室			室数		1 室	蔵書数					6, 6 3 3 冊	
	救急用又は患者 輸 送 用 自 動 車			主な設備		救急用自動車		保有台数			1 台		
	医薬品情報管理 室			専用室の場合		床面積 1 7 m ²							
共用室の場合				室と共用									

(第 2 面)

紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①		紹介患者数 ㊦		逆紹介患者数 ㊧		地域医療支援 病院紹介率 $\frac{㊦}{㊧} \times 100$		地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{㊧}{㊦} \times 100$			
	5,668 人		4,716 人		6,427 人		83.2%		113.4%			
	算定期間		令和 6 年 4 月 1 日から 令和 7 年 3 月 31 日まで									
共同利用	共同利用の実績			・CT・・・実績総数 475 件 ・MRI・・・実績総数 586 件 ・PET・・・実績総数 64 件 ・RI・・・実績総数 57 件 等								
	共同利用の範囲			病床、各科専用の診察室、手術室、処置室、大型医療機器（CT、PET、MRI、RI、SPECT、骨密度、エコー等）、会議室、図書室、診療情報管理室、医薬品情報管理室、臨床検査に関わる施設（化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室）等								
	共同利用について 定めた規程の有無			㊦ ・ 無								
	利用医師等登録制 度の担当者			職種		地域医療連携係長						
				氏名		小林 陽子						
	登録 機 関	名 称		開設者の氏 名又は名称		開設者の 住所又は 所在地		主たる 診療科 目		報告者との 経営上の 関係		
		別紙 3 のとお り										
	常時共同利用可能な病床数			5 床								

(第3面)

救急医療 の提供	重症救急 患者の受 入れに対 応した医 療従事者	職種	氏 名	勤 務 の 態 様		勤務 時間	備考
			別紙4のとおり	常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
				常勤・非常勤 専従・非専従			
	重症救急 患者のた めの病床	優先的に使用した病床			なし		
		専 用 病 床			24床		
	重症救急 患者に必 要な検査 又は治療 を行った 診療施設	区 分	床面積	設備の概要		24時間使 用の可否	
		救命救急セン ター（24床）	524.92m ²	別紙5のとおり		可	
		I C U （6床）	309.51m ²			可	
		救命救急セン ターE R 2 4	447.13m ²			可	
		内視鏡センター	331.13m ²			可	
		検査室	593.82m ²			可	
		放射線科室	649.98m ²			可	
		手術室	667.07m ²			可	
	重症救急患者を 24 時間体制で受け入れた診療科目			内科、糖尿病・血液内科、脳神経内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、内視鏡外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、心臓血管外科			
	救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況			S52.10.16 救急告示病院指定 S52.10.16 第2次救急輪番制病院 H17. 5. 1 救命救急センター設置			
	救急医療 の提供の 実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数		3,382 人 （うち入院を要した患者の数1,657 人）			
		そ の 他 の 救 急 患 者 の 数		3,978 人 （うち入院を要した患者の数530 人）			
		計		7,360 人 （うち入院を要した患者の数2,187 人）			

(第4面)

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命病棟への 早期栄養管理加算拡大の 取り組みと効果 ・前腕遠位端骨折後のリハビリテーションについて ・膵癌早期診断に向けた展望 ・看護師特定行為研修修了者の活動報告 ・画像処理の基本『再構成関数・MTF・WS』を理解するための一歩 ・HIV 研修会「HIV と M-pox（サル痘）：基礎から臨床まで」 ・乳がん診療における臨床検査技師の役割 ・免疫不全状態における感染症診療について ・抗がん剤の皮膚障害とケアについて ・病みの軌跡を考慮した呼吸管理・呼吸リハビリテーション ・外来がん治療地域連携研修会 ・下関における循環器診療の今後と最近の話題について 				
	研修実施回数	12回				
	研修生の数	214人				
	研修プログラムの有無	有 ・ 無				
	研修委員会の設置の有無	有 ・ 無				
	研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数
		(教育責任者) 戒能 聖治 (その他) 別紙6のとおり	医師	消化器内科	研修部長	31年
	研修	区分	床面積	設備の概要		

		地域医療研修ホール	287.95m ²	天吊り型プロジェクター、音響設備、可動式ホワイトボード、パソコン、映写用スクリーン、長机、椅子
		研修室 1	32.45m ²	長机、椅子、パソコン
		研修室 2	35.77m ²	可動式ホワイトボード、長机、椅子、パソコン
		研修室 3	33.15m ²	可動式ホワイトボード、長机、椅子

(第5面)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責 任 者	地域医療連携室長 吉田 晋		
		その他の担当者	専門職 矢田部 如央		
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)		保管場所	分類方法	
			事務部管理課 事務部企画課	日誌関係は年度別、その他は患者別	
	病院の管理及び運営に関する諸記録	区 分		保管場所	
		共 同 利 用 の 実 績		地域医療連携室	
		救 急 医 療 の 提 供 の 実 績		事務部企画課	
地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		事務部管理課			
関 覧 実 績		地域医療連携室			
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類		地域医療連携室			
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責 任 者	地域医療連携室長 吉田 晋		
		その他の担当者	専門職 矢田部 如央		
	閲覧場所	地域医療連携室			
	閲覧手続	別紙7のとおり			
	閲覧件数	医 師	3 1 6 件		
		歯 科 医 師	0 件		
		地 方 公 共 団 体	0 件		
		そ の 他	0 件		
		計	3 1 6 件		
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開催回数	4 回			
	委員会における議論の概要	地域医療病院としての役割を果たす取組状況と実績（共同利用、救急医療、研修、諸記録の管理、紹介患者）、並びに提供すべき情報について報告した。			

(第6面)

患者相談	患者相談を行う場所		地域医療連携室、企画課
	主 な 担 当 者		内田 恵梨（社会福祉士）ほか
	相 談 件 数		6, 5 8 2 件
	相 談 の 概 要		退院先の調整、受療相談、医療費相談 等
その他の 地域医療 支援病院 に求めら れる取組	病院の機 能に関す る評価	評 価 の 有 無	① ・ 無
		評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療評価機構
		評 価 を 受 け た 時 期	令和2（2020）年2月
	病院の果 たしてい る役割に 関する情 報発信	情 報 発 信 の 有 無	① ・ 無
		情 報 発 信 の 方 法 及 び 内 容	毎月病院誌（海峡）にて病院機能 の紹介や取組等を発信。
	退院調整	退 院 調 整 部 門 の 有 無	① ・ 無
		退 院 調 整 の 概 要	退院先の調整、訪問看護の調整等
	地域連携 の促進	地域連携クリティカルパス の策定の有無	① ・ 無
		地域連携クリティカルパス の種類及び内容	大腿骨頸部骨折・脳卒中を急性期 から回復期・維持期に向ける
		地域連携クリティカルパス を普及させるための取組の 概要	研究会の開催

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名
称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。